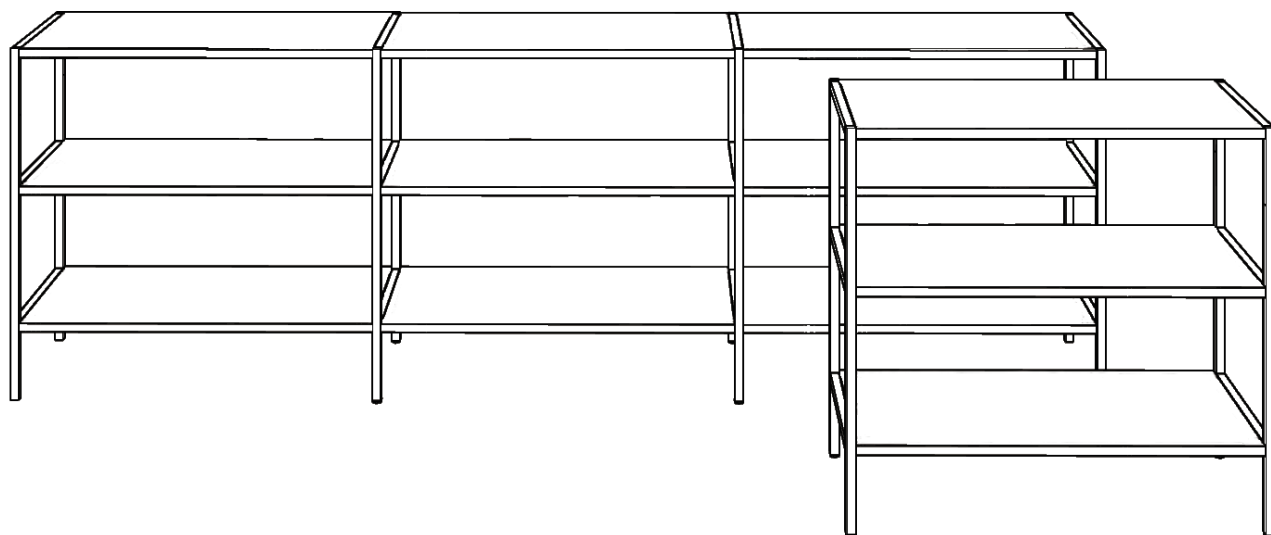


JUST SHELF 取扱説明書

この度は本商品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

ご使用前に本書をよくお読みいただき、内容を理解した上で正しく組み立て、正しくお使いください。



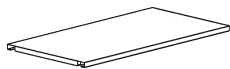
もくじ

パーツ・付属品リスト	2
組立方法	3
安全にお使いいただくために	8
お問い合わせ先	10

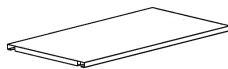
パーツ・付属品リスト

パーツ

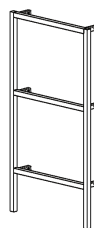
① 天板



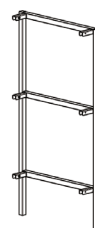
② 棚板



③ 支柱（左側）



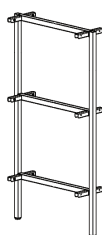
④ 支柱（右側）



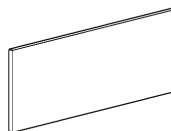
⑤ フレーム



⑥ 柱 **option**

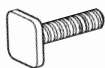


⑦ 背板 **option**



付属品

⑧ アジャスター



⑨ ボルト

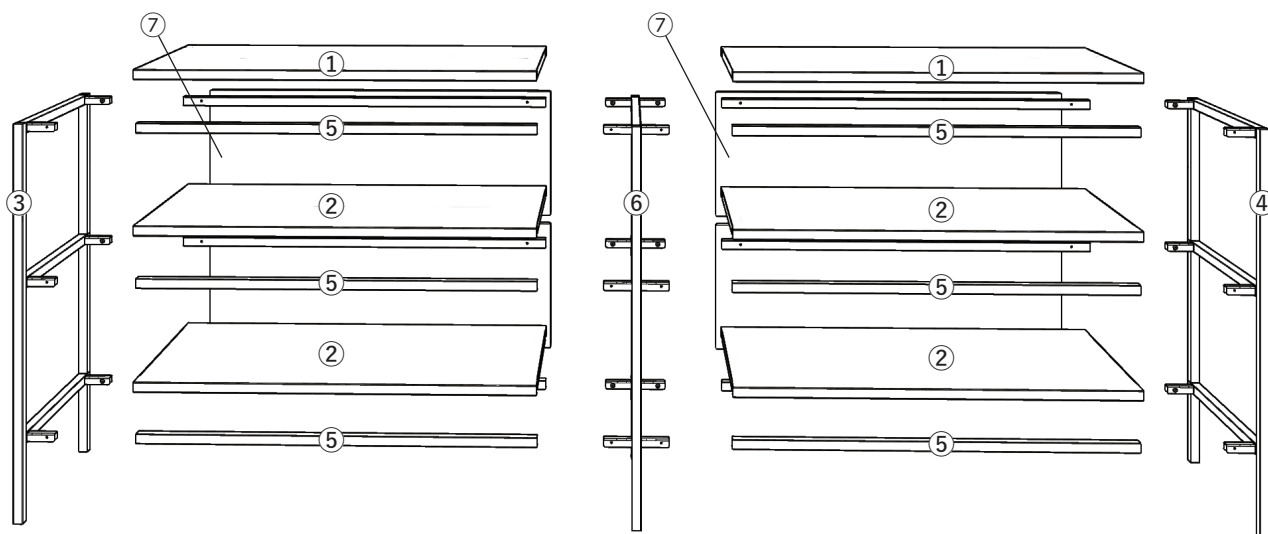


⑩ 六角レンチ



※当商品はオーダーメイドの製品のため、ご発注の内容ごとに内容物、サイズ、数量等が異なります。

※⑥柱と⑦背板は、注文時にこれらのパーツを追加された方のみ同梱しています。



組立方法

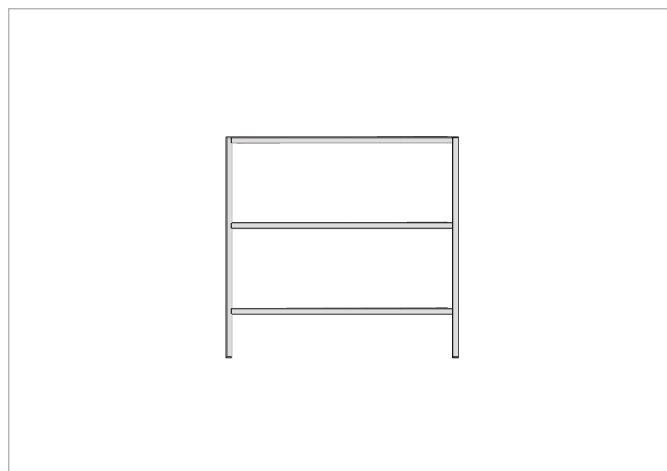
当商品はオーダーメイド製品のため、ご注文内容により仕様が異なります。

スタンダードな2パターンの棚を例に、組み立て方法を掲載しております。ご自身が発注された仕様に最も近い棚を参考にして組み立ててください。

パターン①

パーツ

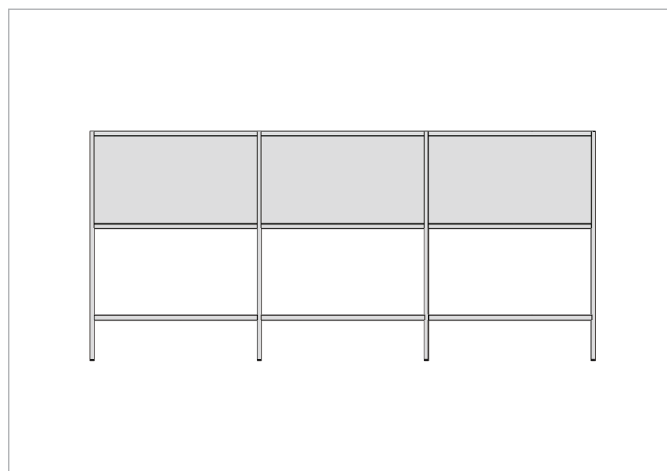
- ・天板 ----- 1枚
- ・棚板 ----- 2枚
- ・支柱（左） ----- 1本
- ・支柱（右） ----- 1本
- ・フレーム ----- 6本



パターン②

パーツ

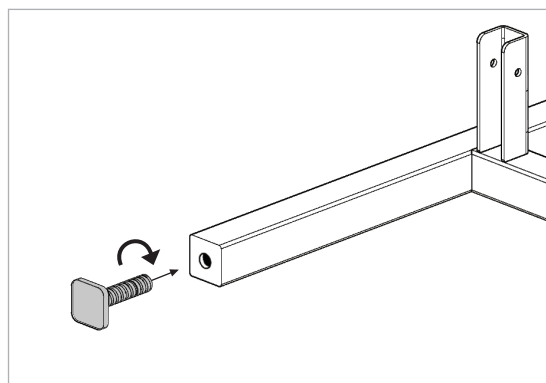
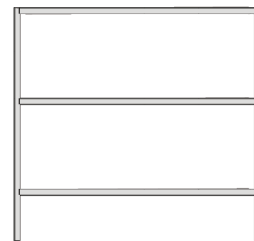
- ・天板 ----- 3枚
- ・棚板 ----- 6枚
- ・支柱（左） ----- 1本
- ・支柱（右） ----- 1本
- ・フレーム ----- 18本
- ・背板 ----- 3枚



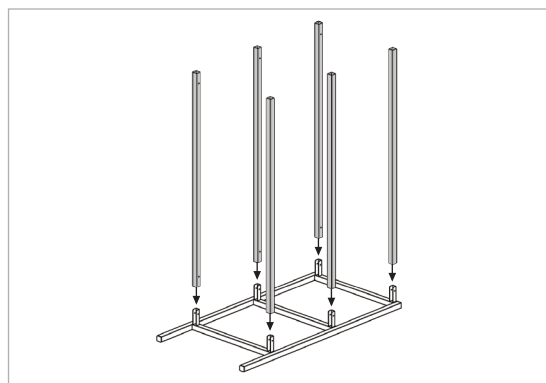
組立方法 パターン①

パーツ

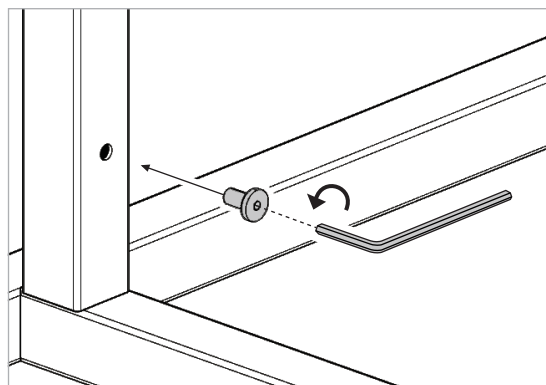
- ・天板 1 枚
- ・支柱（左） 1 本
- ・フレーム 6 本
- ・棚板 2 枚
- ・支柱（右） 1 本



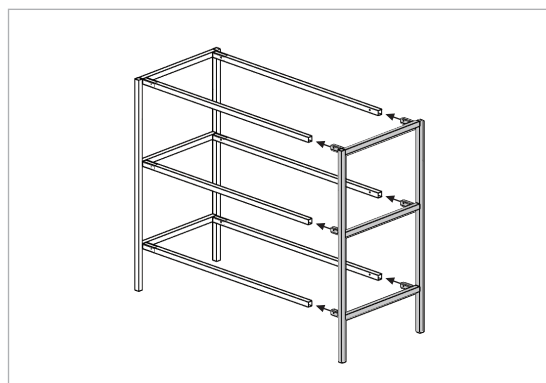
1 左右それぞれの支柱にアジャスターを取り付けていきます。



2 棚の骨子を組み立てていきます。
左右どちらかの支柱にフレームを差し込んでください。



3 すべてのフレームを差し込んだら、レンチを使ってボルトを締めて固定してください。

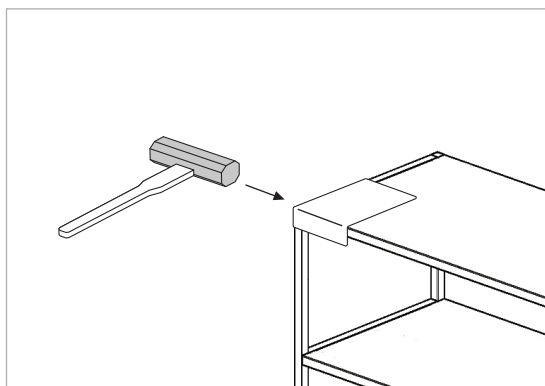


4 締めていない片方のフレームを支柱に差し込み、ボルトを締めてください。これで棚の骨子は完成となります。



5 フレームの溝に噛み合うように、天板と棚板を慎重に置いてください。

※棚板を置く際は、フレームに擦れないように慎重に置いてください。激しく擦れると塗装が落ちてしまう可能性があります。

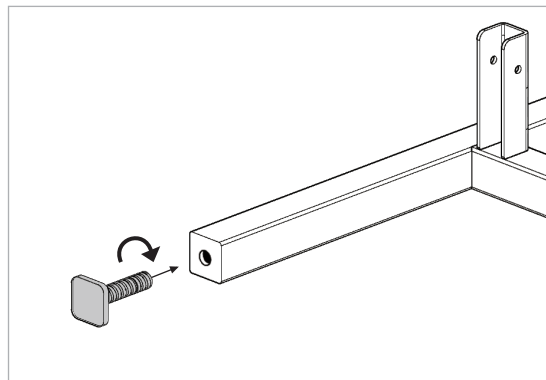
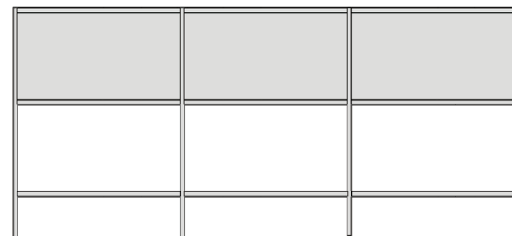


6 最後の仕上げとして、製品が傷つかないように当て布をしてトンカチなどで叩いて支柱とフレームの間に隙間が生じないようにしてください。

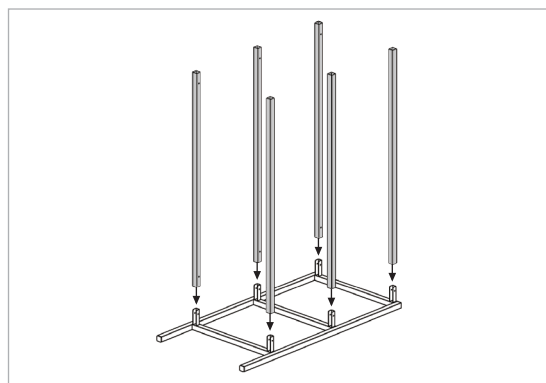
組立方法 パターン②

パーツ

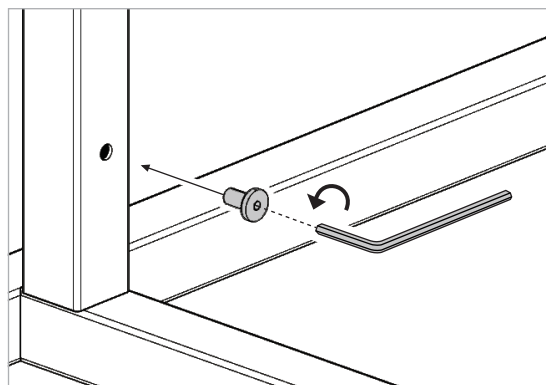
- ・天板 3 枚
- ・支柱（左） 1 本
- ・フレーム 18 本
- ・棚板 6 枚
- ・支柱（右） 1 本
- ・背板 3 枚



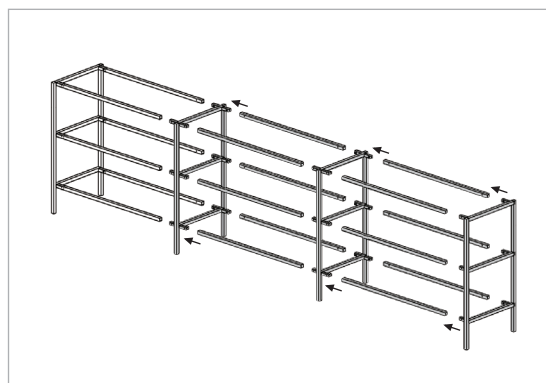
- 1 左右それぞれの支柱にアジャスターを取り付けていきます。



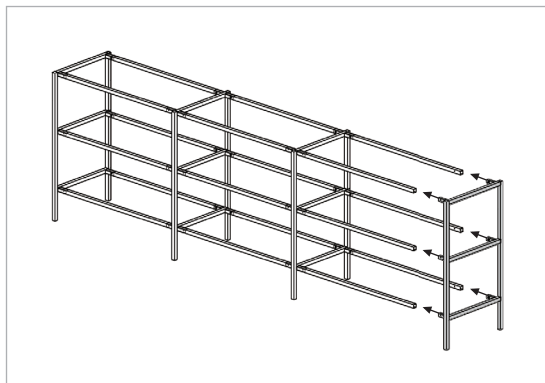
- 2 棚の骨子を組み立てていきます。
左右どちらかの支柱にフレームを差し込んでください。



- 3 すべてのフレームを差し込んだら、レンチを使ってボルトを締めて固定してください。

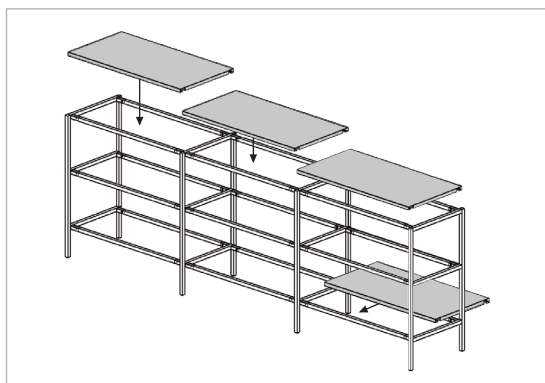


- 4 ②で差し込んだフレームの逆側を柱に挿入し、③と同様にボルトを締めていきます。ご注文の柱の数に応じて、この作業を繰り返してください。



5

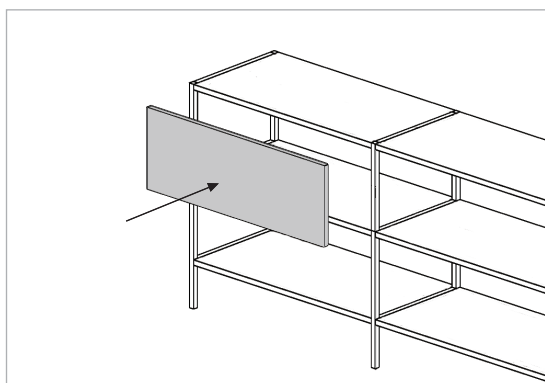
フレームを支柱に差し込み、ボルトを締めてください。
これで棚の骨子は完成となります。



6

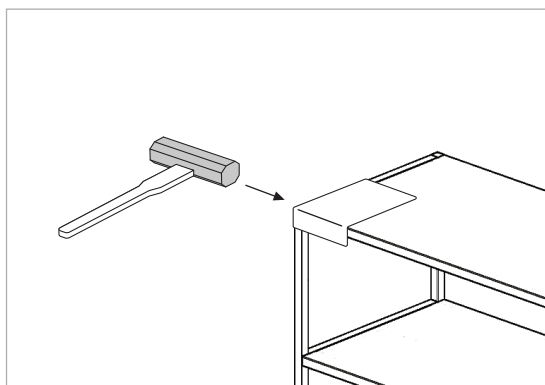
フレームの溝に噛み合うように、天板と棚板を慎重に置いてください。

※棚板を置く際は、フレームに擦れないように慎重に置いてください。激しく擦れると塗装が落ちてしまう可能性があります。



7

背板の穴を、棚板の穴に合うように設置して、ボルトを締めてください。上下 4 ヶ所の穴に締めたら、設置完了です。



8

最後の仕上げとして、製品が傷つかないように当て布をしてトンカチなどで叩いて支柱とフレームの間に隙間が生じないようにしてください。

⚠ 安全にお使いいただくために ⚠

使用方法について

- ・商品の上に立ったり、腰かけたり、踏み台の代わりに使用したりしないでください。商品の転倒や破損によりケガや破損の原因となるおそれがあります。
- ・商品で電化製品の電源コードを踏まないでください。コードが破損し、感電や火災の原因となるおそれがあります。
- ・棚板を持って、持ち上げないでください。棚がはずれて物が落ち、思わぬケガや器物破損の原因となるおそれがあります。組立後の移動は必ず収納物を取り除いてから2人以上で左右から帆立部分をしっかり持って移動してください。

耐荷重について

耐荷重は棚全体に均等に荷重がかかったときに、耐えられる荷重のことです（「棚板 1 枚の耐荷重 40kg」の場合、棚板に載せられる重量は最大 40kg まで）。

※JUST SHELF はオーダーメイド製品ですので、棚板のサイズにより耐荷重が異なります。

幅 10 cm × 奥行き 10 cm の棚板の場合：耐荷重 120kg

幅 120 cm × 奥行き 65 cm の場合：耐荷重 40kg

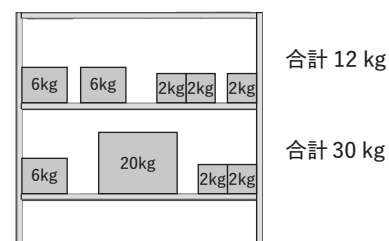
正しく使用しないと、棚の反りや変形が生じてしまったり、安定性がなくなり転倒してしまったりする恐れがあります。

下に使用例を示しますので、正しく安全にお使いください。

棚板の耐荷重 40kg の場合

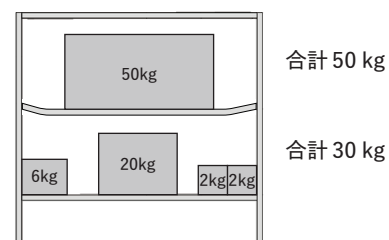
○

- ・荷重が重いものは下の棚板に置くと、棚全体が安定する
- ・1 枚の棚板に物を分散させると、負担を軽減でき、板の反りや変形を防げる



×

- ・上の棚板に重いものを置くと、転倒しやすくなり危険
- ・棚板の耐荷重を超えると、反りや変形が生じやすい



⚠ 安全にお使いいただくために ⚠

組み立てについて

- ・説明書に従って正しく組み立ててください。
- ・組み立ては、広い場所や周囲に人がいない等、安全の確保できる場所で行ってください。
- ・安全のため、床に寝かせて組み立てて下さい。
- ・付属の部品などを無くさないよう注意してください。

設置場所

- ・転倒防止のため、棚は「壁面に接するように」設置することをお奨めいたします。
- ・棚を設置する際に、地震等による転倒に備えて転倒防止の措置を行って下さい。
- ・建物の壁・床・天井などに、固定用部材などをしっかり固定して下さい。
- ・棚は、水平・垂直を保つように設置して下さい。ガタツキのあるままご使用になりますと、転倒したり、転倒によるケガの原因となることがあります。

保守・点検

- ・ネジ・金具類は、ゆるみやグラツキがないか定期的に点検し、ゆるみはじめたら、しっかり締め直してください。ゆるんだままだと、ケガや脚・本体の破損、床面のキズの原因となります。また、ガタツキや異常音の発生の原因となります。
- ・「ボルトの締め忘れ」「ボルトのゆるみ」は、非常に危険ですので、完成時に今一度「忘れ」「ゆるみ」がないか必ず確認して下さい。

廃棄について

廃棄の際は、居住地域自治体のルールに従い、処分してください。

お問い合わせ先

商品のお問い合わせは、下記にご連絡ください。

株式会社三英金属

〒601-8203 京都府京都市南区 久世築山町 351 番地

TEL.075-921-6111 / FAX.075-921-6114